

第4回「防潮堤を勉強する会」要旨

第一部 日時：2012年8月19日（日）15時00分から17時30分 場所 魚市場3階

1. テーマ「各地区の現状の状況と課題を共有する」※浜々の状況について各地区から報告していただく

大島 亀山磯草地区

- 浜の防潮堤の高さを直接県の土木担当者からポール、ロープを使って説明を受けた。
- 防潮堤の原型復旧、背後地のかさ上げ、壊れた栈橋を岸壁にしてほしいとの要望書を市に提出した。
- 大島全体や繋がっている浜での話し合いはまだ行われていない。

面瀬地区

- 緑地公園化の話に意識がいきっており、防潮堤に関してはまだよくわからないというのが実状。
- 緑地公園化の話にしてもまだわからない点が多くある。

階上地区

- 地方の集落部分に対する復興予算はない。漁業集落防災機能強化事業や防潮堤事業と組み合わせをして予算組みをしていく必要がある。
- 去年までグループ化で取り組んでいた養殖業が今年から個人の経営に戻る。作業エリア確保が必要。
- 行政に対して、地域の意見をまとめた対案が必要である。使っている地域の人が直接意見を出し、地図で繋ぎ合わせてまとめていく必要がある。

本吉大谷地区

- 大谷海岸においては既存の砂浜を守り、海水浴場の機能を維持するために現在計画されている防潮堤を陸側にセットバックして国道45号線のかさ上げを求める意見が多く出されている。
- 防潮堤と集落の間に防潮堤より高い避難路を整備することで浸水想定区域のレベルを下げる案も出ている。

本吉大沢地区

- 振興会の役員、地区の代表者、支援団体の代表者を含めた津谷大沢震災復興会議により計画を策定し要望書を市に提出した。
- 景観を重視しない所は強固な防潮堤を作してほしい。場所によっては背後に植林をして緑化を含めた多重防御の形をとってほしい。

本吉小泉地区

- 防潮堤の説明会は1度。14.7mの防潮堤計画であるが、大きな反対はなく説明を聞いていた。
- 仮堤防がある内側100mほどの所に砂が堆積している。以前の場所に堤防を作るか、現在の砂が堆積している位置にバックして作るかという話が出ている。

3. 質疑からわかったこと

- 専門家の知識やファシリテーターを必要としている地区がある。
- 意見をまとめて市に要望書を提出している地区もあれば、防潮堤の高さについて議論している地区もある。集まりが持たれていない地区もある。住民全員の意見を少しずつまとめていく必要がある。